各位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 加藤 早苗

令和7年度日本語学校教育研究大会の開催について(ご案内)

当協会の事業運営につきましては、日頃多大の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本大会を別紙1の実施要項により開催することといたしました。つきましては、ぜひ多数の方にご参加いただきたく以下の通りご案内いたします。

記

プログラム等詳細については、令和7年度日本語学校教育研究大会 web サイト
< <https://kenkyutaiikai.wixsite.com/website> >でもご覧いただけますのでぜひご覧ください。

参加をご希望の方は、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

1) 1人ずつ手続可能・クレジットカード決済

大会 web サイト < <https://kenkyutaiikai.wixsite.com/website> >

2) 1人~10人まで手続可能・銀行振込

Google フォーム < <https://forms.gle/mKsoVErY8q2Dgvdi9> >

申込締切日 2025年7月25日(金)

※会場参加・交流会について、申込多数の場合は締切日より前に受付を終了することがございますので、予めご承知おきください。

(添付資料)

- 別紙1 大会実施要項
- 2 大会趣旨
- 3 大会日程
- 4 事務連絡
- 5 メール用参加申込書/質問票

問合せ先 事業部 小野寺陽子

TEL 03-6380-6557

FAX 03-6380-6587

Eメール nisshinkyu2@gmail.com

HP <https://www.nisshinkyu.org/>

令和 7 年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図ります。

- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟・センター棟
東京都渋谷区代々木神園町 3-1

3 日程

8月7日(木)

時間	プログラム	会場 (オリセン)	ライブ (YouTube)	アーカイブ
10:00-10:30	開会挨拶・大会趣旨説明	○	○	○
10:30-12:20	講演	○	○	○
12:30-14:30	ポスター発表・デモンストレーション 協賛団体紹介ブース	○		
14:30-17:30	基調講演・パネルディスカッション	○	○	○
17:45-	交流会(要別途参加申込・参加費)	○		

8月8日(金)

時間	プログラム	会場 (オリセン)	ライブ (YouTube)	アーカイブ
10:00-12:00	分科会	○		一部配信
13:30-15:45	自由研究発表	○		

※日程等は変更になる可能性があります。ご了承ください。

会場参加：会場に参加してください。後日一部プログラムのアーカイブ配信視聴もできます。
オンライン参加：一部プログラムのライブ配信・後日アーカイブ配信を視聴できます。

8/7 交流会へのお申込みはできません。

4 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会維持会員機関に勤務する教職員、その他関心のある者
とします。
(2) 1機関から多数の教職員が参加していただいて差し支えありません。

※ 会場参加・交流会について、申込多数の場合は締切日より前に受付を終了することがございますので、予めご承知おきください。

5 参加費(予定)

※(税込)/1人当たり

	会場参加	オンライン参加	8/7 交流会 (会場参加者のみ)
維持会員	4,400円	3,300円	3,300円
賛助会員	5,500円	4,400円	
その他の教育機関、個人	6,600円	5,500円	

<令和 7 年度日本語学校教育研究大会趣旨>

大会テーマ『今こそみんなの教育実践を共有しよう』

大会委員長 惟任将彦（大阪 YMCA 学院）

令和 7 年度大会のテーマを「今こそみんなの教育実践を共有しよう」といたしました。令和 6 年度より「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」が施行され、認定日本語教育機関、登録日本語教員の制度が始まりました。それに伴い、日本語学校と日本語教師に対する注目が高まってきているように感じます。しかし、日本語学校、および日本語教師の社会的認知をより一層高めるためには、実践の発信・共有が今後ますます必要になってくるのではないのでしょうか。日本語教育に携わる私たちが実践研究・議論を活発に行うことによって教育の質の向上、そして、日本語学校業界の発展につながるのではないかと考えます。

大会一日目の午前には、2 本の講演を予定しております。まず、文部科学省日本語教育課から認定日本語教育機関と登録実践研修機関等に関する現状についてお話しいたします。その後、出入国在留管理庁政策課から育成就労制度及び特定技能制度における日本語要件と認定日本語教育機関の活用等についてお話しいたします。昼休憩の時間には 15 件のポスター発表・デモンストレーション、午後は基調講演とパネルディスカッションを予定しております。基調講演は、『日本語学校物語』（ココ出版）の著者のお一人でもある、武蔵野美術大学の三代純平先生をお招きし、「実践研究とは何かー日本語学校から実践を発信・共有することの意義ー」と題し、日本語学校の教職員が実践研究をすることの意義についてお話しいたします。それを踏まえ、パネルディスカッションでは、他の外国語教育の実践から学ぶという観点から、スペイン語、ドイツ語、そして日本語教育の実践の発信・共有の意義について登壇される先生方に議論していただきます。

二日目の午前には、3 つの分科会を予定しております。1 つ目は、「教員研修」に関するもので、教師オートノミーに関する発題と各校の様々な取り組みの実践共有から、よりよい教員集団を作るためにできることを考えるワークショップとなります。2 つ目は、「評価」に関するもので、評価の実践を共有することにより、自身の教育機関で「活かせる評価」のヒントを得ることを目指したワークショップとなります。そして、3 つ目は、「日本語教育の参照枠」を活用した授業デザインに関するもので、日振協が教育モデル開発・普及事業で作成したモジュールボックスを使用したワークショップを行います。午後は、11 件の自由研究発表を予定しており、いずれも質量ともにとっても充実したものとなっております。

令和 6 年度に引き続き、令和 7 年度も対面開催となります。本大会が参加者のみなさまにとって、旧交を温め、再会の喜びを分かち合う機会となるとともに、新たな出会いが生まれ、これからの日本語学校教育について語り合う場となり、そこから「競争」が「協奏」になり、「共創」の機会が生まれ、日本語学校業界の発展につながれば、それに勝る喜びはございません。みなさまに楽しんでいただき、有意義な大会になりますことを心より念じております。

令和 7 年度日本語学校教育研究大会日程

- 1 日目 2025 年 8 月 7 日(木) 講演・パネルディスカッション・ポスター発表・デモンストレーション等
2 日目 2025 年 8 月 8 日(金) 分科会・自由研究発表等

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟・センター棟

テーマ : 今こそみんなの教育実践を共有しよう

1 日目(8 月 7 日)

9:20~ 受付

カルチャー棟 1F 小ホール(定員 330 人)

10:00~10:30 (ライブ配信 アーカイブ配信)	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 加藤早苗 来賓挨拶 大会趣旨説明 大会委員長 惟任将彦(大阪 YMCA 学院 教務主任)
10:30~11:20 (ライブ配信 アーカイブ配信)	講演 「文部科学省の日本語教育施策の動向」(事前質問受付 7/23 迄) 文部科学省総合教育政策局日本語教育課長 降旗友宏
11:30~12:20 (ライブ配信 アーカイブ配信)	講演 「育成就労制度及び特定技能制度における日本語要件と認定日本語教育機関の活用について」(事前質問受付 7/23 迄) 出入国在留管理庁政策課調整官 山形正洋

12:20~14:30 昼休憩

食堂等について
時間帯やセンターの利用状況によりカフェテリア『ふじ』(センター棟 2F) は混み合う
可能性があります。コンビニエンスストア(宿泊 D 棟 1 階交流プラザ横)やイートイン
スペース(カルチャー棟 2F)もありますのでご利用ください。

ポスター発表・デモンストレーション

カルチャー棟 1F 展示スペース

12:30~14:30 (配信なし)	国語辞典を用いた語彙習得の試みー能動的な語彙の探索とその課題 萩原秀樹(インターカルト日本語学校)
	教育理念を明確化するための新人日本語教師どうしの場作りの提案 ー所属機関の異なる教師との「三位一体」モデルを用いた語り合いをとおしてー 岸根彩子・伊藤茉莉奈・櫛田ひかる・竹内雪乃・寺浦久仁香・仁野玲菜、 野宮公美・藤原恵美(翰林日本語学校)
	日本語学校における防災教育の取り組みと展望 渡部柊斗(国際ことば学院日本語学校)
	「活動あって学びあり」を実現する学習デザインー社会とつながるプロジェクト 型実践を通じてー 内田さつき・新谷葉菜(コミュニカ学院)
	外国人留学生と発達障害についての意識調査ー日本語学校に所属する留 学生向けアンケート結果よりー 小林唯(新宿日本語学校)
	「いろいろ 生活の日本語」をメインテキストとして使用した実践報告 吉川巧也・内田優美・春山友里奈(新東京国際語学院)

12:30～14:30 (配信なし)	対面イベント「日本語教師の管理運営業務について話してみよう！～自分の現場のお仕事見直し編～」の実践報告 古川嘉子(帝京大学)、平山允子(日本学生支援機構)、中川健司(横浜国立大学)、安中浩美(アン・ランゲージ・スクール)、浦由実(元アン・ランゲージ・スクール)
	日本語教育人材の「やってみたい」を応援する—日本語教育学会チャレンジ支援委員会の取り組み— 杉本香(大阪大谷大学)、平山允子(日本学生支援機構)、春口淳一(大阪産業大学)、末松大貴(名古屋学院大学)、古賀万紀子(神田外語大学)、香月裕介(神戸学院大学)、安達万里江(法政大学)
	外国人留学生の安全確保と地域連携を目的とした防災教育 田口正志・菊池悠次・小林更子(日本語学校つくばスマイル)
	対話を通して同僚教員の作文授業を振り返る—いかにして教員 S の授業は作文に対する学生の態度変容につながったのか— 進士真也(浜松日本語学院)
	自律的な異文化理解を促進するマナー授業案 加藤淳(ミッドリーム日本語学校)
	学生主体の教育実践を目指そう 郭絢麗・玉置彩香(南大阪国際語学学校)
	共生のバトンをつなぐ地域プロジェクト—理念に基づく教育の場づくりと地域・行政・学生を結ぶ協働の試み— 戸川朝子・阪本健資(南大阪国際語学学校)
	カタカナ指導、どうしてる？(カタカナ指導の実践共有) 佐久間みのり(学)石川学園横浜デザイン学院)、吉川達(立命館大学)
	「日本留学試験 記述 ポイント&プラクティス」を使った実践とその成果 古川由美子・熊野由佳里・高田ひろみ・樋口絹子(ARC東京日本語学校)

協賛団体紹介ブース

カルチャー棟 1F 小ホールホワイエ

12:30～14:30 (配信なし)	(株)アルク、行政書士法人 IPPO、(株)インバウンドジャパン、(株)研究社、(株)恒春閣、(株)国書刊行会、(株)サーティファイ、(株)スリーエーネットワーク、(株)テイクオーバー、(株)PHP 研究所、富士インフォックス・ネット、(株)凡人社
---------------------------	--

カルチャー棟 1F 小ホール

14:30～16:00 (ライブ配信 アーカイブ配信)	基調講演「実践研究とは何か—日本語学校から実践を発信・共有することの意義—」 三代純平(武蔵野美術大学 グローバルセンター長)
16:00～17:30 (ライブ配信 アーカイブ配信)	パネルディスカッション「日本語・スペイン語・ドイツ語教育の実践者が語る工夫と挑戦」 大森洋子(明治学院大学 名誉教授) 梶浦直子(中京大学グローバル教育センター 外国語嘱託講師) 佐藤正則(Japan Language School 横浜 教務主任)

17:45～ 交流会

宿泊 D 棟 9F さくら(定員 50 人)

2 日目のみ参加の方は、310 室前の受付(9:30～)にお越しください。
 1 日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。
 会場により収容定員が異なります。定員に達した場合、ご入場いただけないことが
 ありますので予めご承知おきください。

別紙 3

2 日目(8 月 8 日)

センター棟

※分科会 I ～ III は、会場参加の方がワークを行う時間帯があります。ワーク中の配信はありません。
 予めご承知おきください。

10:00～12:00 (一部アーカイブ配 信)	分科会 I 「日本語教育の参照枠」リアルから考える学習活動～blank・モジュール を使って～	102 室(定員 180 人)
	分科会 II わたしたちの研修シェアプロジェクト～経験とアイデアを分かち合おう～	309 室(定員 60 人)
	分科会 III 「いいな」で終わらせない！～評価実践の持ち寄り&持ち帰りワークショップ～	310 室(定員 120 人)

12:00～13:30 昼休憩

自由研究発表

センター棟 102 室/309 室/310 室/402 室

13:30～14:05 又は 14:20～14:55 又は 15:10～15:45 (配信なし)	学生の主体的な学びのための教師の発問に関する研究～中級文法授業 の開発とその検証～ 岩崎未来・雨宮紗希・大塚千晶・林慎也・村田智子・吉田晃子(ISI ラン ゲージスクール新宿校)
	日本語教師【中堅】研修が受講者のライフキャリアに与えた影響—JCN 研 修講師育成コース修了者 4 名の語りから— 惟任将彦(大阪 YMCA 学院)、平山允子(日本学生支援機構)、柘丸華 緒(国際医療福祉大学)、前田和則(Plus ten 株式会社)、小坂凜(京都 産業大学)
	A2.2 レベルクラスにおけるキャリア形成を見据えた自己理解の試み— TEM(複線径路等至性モデリング)を活用した教育実践— 平賀結花(上山学院日本語学校)
	中級聴解授業における「多聴」活動の実践 阪本麻子(ジェット日本語学校)
	子育てサロン案内状の多言語版作成を通じて地域社会と関わるプロジェ クトワーク実践報告(参照枠 A2 レベルにおける活動) 志田華奈子(西日本短期大学)
	生活 Can do に基づく留学生の自立を目指す取り組みについて 小宮山一徳・園部秀美(浜松日本語学院)
	「コミュニケーションのための日本語教育文法」における前置き表現—教 科書『できる日本語』の分析を通して— 徐単(南大阪国際語学学校)
	学校全体で取り組むカリキュラムを目指して～日本語教師のパフォーマン ス評価の実践とその課題から～ 佐久間みのり・川名美恵・田中朗子・渡部幸子(学)石川学園横浜デザイ ン学院)、石澤徹(東京外国語大学)
	地域とつながる探究学習 佐久間みのり(学)石川学園横浜デザイン学院)
	A1・A2 レベルで必要なタスクの調査—学習者のインタビューから— 佐々木渉(学)石川学園横浜デザイン学院)
生成 AI を用いた手書き作文の自動採点 今井新悟・申貞恩(合同会社 Logos)	

15:45 終了

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。

令和7年度日本語学校教育研究大会 事務連絡

I 大会 web サイトについて

プログラムや資料、動画配信等の情報は、
大会 web サイト<<https://kenkyutaiikai.wixsite.com/website>>にてご案内いたします。

II 参加申込みについて

○以下のいずれかの方法でお申し込みください。

1人ずつ クレジットカード決済	大会 web サイト https://kenkyutaiikai.wixsite.com/website
----------------------------	---

【！】支払いはクレジットカード決済のみ。

・1度の手続きにつき1人分のみお申し込みできます。2人目以降のお申し込みは、再度チケットを購入してお申し込みください。お支払いを確認後、大会 web サイト参加者専用ページへの招待メールをお送りします。

1人～10人まで 銀行振込	Google フォーム https://forms.gle/mKsoVErY8q2Dgvd9
--------------------------	--

【！】支払いは銀行振込のみ。

・振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。
・参加費は、事前振込です。参加申込み受付後、3日以内(土日祝日除く)に、当協会から受付番号・参加費金額・入金期限・振込先口座等が記載されたメールをお送りしますので銀行振込にてお支払いください。お支払いを確認後、大会 web サイト参加者専用ページへの招待メールをお送りします。
・10人までまとめてお申し込みができます。11人目以降のお申し込みは、再度フォームにアクセスしてお申し込みください。
・領収書の発行はいたしません。銀行の発行する振込金受領書をご利用ください。

○申込締切 2025年7月25日(金)

※会場参加・交流会について、申込多数の場合は締切日より前に受付を終了することがございますので、予めご承知おきください。

○参加費

※(税込)/1人あたり

	会場参加	オンライン参加	8/7 交流会 (会場参加者のみ)
維持会員	4,400円	3,300円	3,300円
賛助会員	5,500円	4,400円	
その他の教育機関、個人	6,600円	5,500円	

・参加の有無に関わらず、参加費ご入金後の返金はできませんのでご注意ください。
・銀行振込の場合、振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。

Ⅲ ご参加に際しての注意事項

本大会の録音、録画、保存は禁止します。

大会 web サイト参加者専用ページログイン情報等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が大会プログラムに参加することは禁止いたします。

Ⅳ 大会予稿集について

予稿集及び各プログラムの資料は、大会 web サイト参加者専用ページからダウンロード(PDF)ができます。公開時期等は随時ご案内いたします。

令和7年度日本語学校教育研究大会《参加申込書》
一般財団法人日本語教育振興協会事業部行

会員番号		※当協会維持会員校のみご記入ください。
所属機関名		
TEL		
事務連絡用Eメール		
申込担当者氏名		

標記大会の参加を申し込みます。

(該当する□に☑してください。)

機関区分	☐ 維持会員	☐ 賛助会員	☐ その他
------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------

	参加方法	8/7交流会 (会場参加者のみ)	(ふりがな) 氏名	職名	メールアドレス (資料・お知らせ等送付先)	参加アンケート 会場参加の方のみご記入下さい			
						8/7		8/8分科会	
						講演 パネル	参照 枠	研修	評価
1	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
2	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
3	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
4	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
5	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
6	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
7	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
8	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
9	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
10	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐

参加アンケート:会場参加の方のみご記入ください。当日会場で参加予定のプログラムに☑してください。(運営の参考のために伺っています。予約ではありません。当日参加するプログラムが変わっても問題ありません。)

7月25日(金)までに、日振協事業部<nisshinkyu2@gmail.com>宛てお申し込みください。参加費は事前振込みです。参加申込み受付後、3日以内(土日祝日除く)に、当協会から受付番号・参加費金額・入金期限・振込先口座等が記載されたメールをお送りしますので銀行振込にてお支払いください。

※申込多数の場合は締切日より前に受付を終了することがございますので、予めご了承ください。